

「八軒家浜」

事業報告書 及び 計画書

「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業

1期（2011年度）～3期（2019年度）実績

■事業コンセプト■

＜川・まち・ひと＞の様々な可能性が、あつまり、ひろがることで真の賑わい創出拠点へと深化する「川の駅はちけんや」

大川（旧淀川）沿いの八軒家浜に2009年7月に完成した「川の駅 はちけんや」の地下1階フロアにおける、水辺の賑わい創出事業者として、大阪府と中之島水辺協議会により、にぎわいXing（NPO大阪水上安全協会を主管とするJV）が承認、2011年7月「にぎわいXing」がオープンしました。

「にぎわいXing」は、「川の駅 はちけんや」に、あつまり、ひろがる「空間・時間・機能」をコンセプトに、八軒家浜の歴史・モノ・ヒト・コトが集積し、周辺地域に拡散することで、新たなにぎわい感を創出・発信することを目的とした賑わい活性化事業です。

事業展開として、365日（全日）稼働のキーベースとなる売店集客施設「GREEN CAFE」、常設展示やフォーラム開催などの「情報発信ゾーン」、雁木を活用した水辺アクティビティ、川と陸の結節点という土地を活かしたウォーキング、そして月に一度、第1日曜日には、鮮魚販売やまぐろの解体ショーをテーマとした「天下の台所・八軒家浜市」を展開してきました。

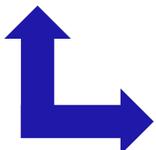


■事業コンセプトの実現性・持続性を可能にした組織構成■

■主幹

特定非営利活動法人大阪水上安全協会

事業推進・各事業者の運営管理

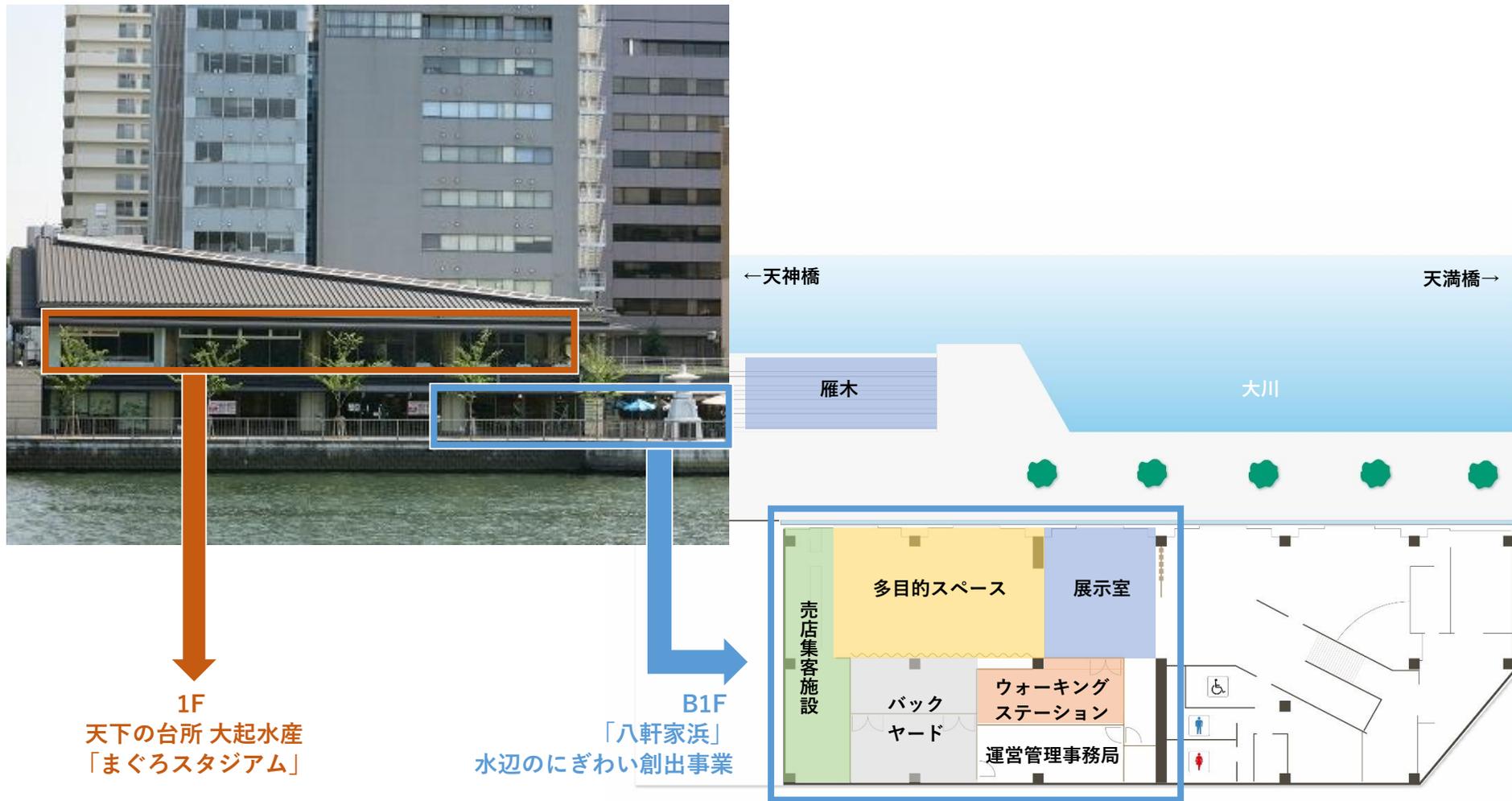


定期的な協議を実施し
水辺の賑わい創出を実践

■水辺の賑わいを創出する事業者

大阪水上バス株式会社	地下1階フロアの運営管理
株式会社RETOWN	売店集客スペースの365日（全日）稼働
一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟	水辺アクティビティの提案・実践
日本シティサップ協会	水辺アクティビティの提案・実践、展示室の運営
大起水産株式会社	集客交流の提案・実践

■「川の駅はちけんや」施設マップ■



■365日稼働による魅力の顕在化

持続的な活動により、年を重ねるごとに多種多様な団体から「川の駅はちけんや」を活用した「水辺の賑わい提案」が行われ実践される、好循環を生み出してきました。（詳細次頁参照）

■公共空間活用のためのプラットフォームの役割が明確化

「川の駅はちけんや」を活用したい事業者と、公共空間を管理する行政や、地元町会・周辺企業との間に立ち各事業を実現するためのプラットフォームとしての役割を果たしています。（詳細次頁参照）



北大江たそがれ
コンサート



ハイドロフライト
選手権



ラグビーワールド
カップイベント



トランチ



はちけんやお花見
フェスタ



ナイトクルーズ



ビアガーデン



八軒家浜市



安全講習会



雨と防災展



BY展

プラットフォーム役割の明確化による
多種多様な水辺の賑わいを実現

集客交流実践の充実

情報発信の提案・
実践の充実

水辺アクティビティの提案・実践の充実

にぎわいXing

■365日稼働による魅力の顕在化（集客交流・情報発信・水辺の賑わい提案）

■公共空間活用のためのプラットフォームの役割が明確化

2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

2011年度から2019年度までの間に、**46件の「川の駅はちけんや」を活用した「水辺のにぎわい」提案がありました。**

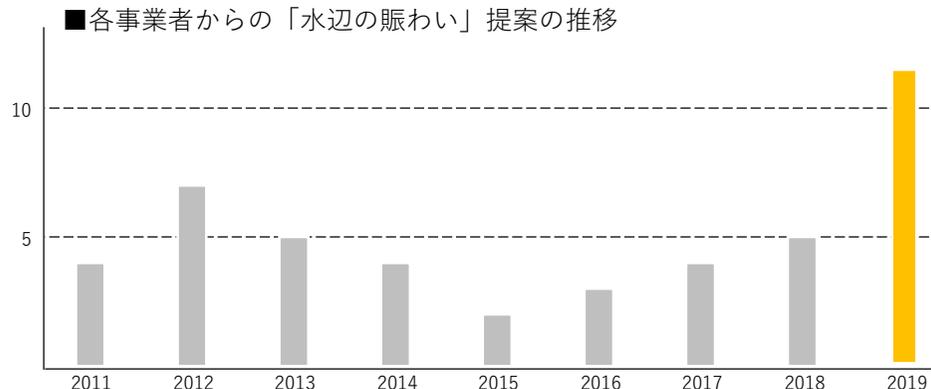
各事業者からの依頼・相談を受け、行政機関との調整・申請手続き、地元住民や近隣企業・施設への周知などの事前調整や、告知協力、開催日当日の運営など、実現に向けて共に取り組んできました。

2011年度	
1	平成OSAKA天の川伝説
2	全国水都フォーラム@大阪
3	おおさかカンヴァス推進事業オープニングパーティ
4	淀川百周年記念「大橋房太郎展」贈呈式特別講演
2012年度	
1	大阪城サマーフェスティバル記者会見
2	大阪川の日写真コンクール表彰式
3	平成OSAKA天の川伝説
4	水辺パル
5	水都大阪フェス2012フォーラム
6	土木フォーラム
7	アイルランドフェスティバル
2013年度	
1	フォークダンス教室
2	NHKナイトクルーズフォーラム
3	大阪川の日写真コンクール表彰式
4	平成OSAKA天の川伝説
5	アイルランドフェスティバル

2014年度	
1	天満橋歴史パネル展
2	大阪川の日写真コンクール表彰式
3	平成OSAKA天の川伝説
4	アイルランドフェスティバル
2015年度	
1	大阪川の日写真コンクール表彰式
2	平成OSAKA天の川伝説
2016年度	
1	大阪川の日写真コンクール表彰式
2	平成OSAKA天の川伝説
3	桜ノ宮橋パネル展
2017年度	
1	大阪川の日写真コンクール表彰式
2	平成OSAKA天の川伝説
3	絵手紙展
4	世界水の日ワークショップ

2018年度	
1	伏見マール展示
2	絵手紙展
3	世界水の日ワークショップ
4	大阪川の日写真コンクール表彰式
5	平成OSAKA天の川伝説
2019年度	
1	ココフェス～ココナッツで世界を変える大作戦～
2	青空シェフごはん トランチ
3	北大江たそがれコンサート
4	全日本ハイドロフライト選手権
5	ラグビーワールドカップバルーン展示
6	APPワールドツアー大阪大会 SUPオープン
7	水辺のサンセットモヒート@GANGI
8	水辺の朝ごはん
9	八軒家今昔物語
10	大阪川の日写真コンクール表彰式
11	令和OSAKA天の川伝説
12	絵手紙展

※各事業詳細はP6～P9参照



■2011年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	平成OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	-
2	全国水都フォーラム@大阪	大阪商工会議所 地域振興部	全国の水の都の各都市との交流事業	-
3	おおさかカンヴァス推進事業オープニングパーティ	大阪府府民文化部都市魅力創造局	公共空間のアートによるまちの魅力発信事業	-
4	淀川百周年記念「大橋房太郎展」贈呈式特別講演			-

※計測記録なし

■2012年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	大阪城サマーフェスティバル記者会見	大阪城サマーフェスティバル実行委員会	事業内容の記者発表	-
2	大阪川の日写真コンクール表彰式	大阪府都市整備部河川室	河川愛護月間の啓発事業	-
3	平成OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	-
4	水辺バル	水辺バル推進協議会	水の回廊をつなぐ「食」と「船」のイベント	-
5	水都大阪フェス2012 振り返りワークショップ	大阪府都市整備部	水都大阪フェスでの活動の振り返りWS	-
6	土木フォーラム		土木事業の情報発信事業	-
7	アイルランドフェスティバル	アイリッシュネットワークジャパン大阪	水辺を活用した賑わい事業	-

※計測記録なし

■2013年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	フォークダンス教室	市村フォークダンス教室	水辺を活用した賑わい事業	-
2	NHKナイトクルーズフォーラム			-
3	大阪川の日写真コンクール表彰式	大阪府都市整備部河川室	河川愛護月間の啓発事業	-
4	平成OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	-
5	アイルランドフェスティバル	アイリッシュネットワークジャパン大阪	水辺を活用した賑わい事業	-

※計測記録なし

■2014年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	天満橋歴史パネル展	北浜東振興町会	天満橋周辺の歴史を伝える情報発信事業	9,003人
2	大阪川の日写真コンクール表彰式	大阪府都市整備部河川室	河川愛護月間の啓発事業	約50名
3	平成OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	約48,000人
4	アイルランドフェスティバル	アイリッシュネットワークジャパン大阪	水辺を活用した賑わい事業	約10,000人

■2015年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	大阪川の日写真コンクール表彰式	大阪府都市整備部河川室	河川愛護月間の啓発事業	30名
2	平成OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	約52,000人

■2016年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	大阪川の日写真コンクール表彰式	大阪府都市整備部河川室	河川愛護月間の啓発事業	50名
2	平成OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	約57,000人
3	桜ノ宮橋パネル展	国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所	架橋85周年を記念した情報発信事業	15,440人

■2017年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	大阪川の日写真コンクール表彰式	大阪府都市整備部河川室	河川愛護月間の啓発事業	50名
2	平成OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	約70,000人
3	絵手紙展	絵画教室	八軒家浜周辺でスケッチをする絵画教室の作品発表展	2,222人
4	世界水の日ワークショップ	国連水機関・世界水の日こども議会	世界水の日啓発事業	216人

■2018年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	伏見マル展示	伏見の港デザイン研究所	淀川舟運でつながる伏見地区のPRイベント	438人
2	絵手紙展	絵画教室	八軒家浜周辺でスケッチをする絵画教室の作品発表展	1,688人
3	世界水の日ワークショップ	国連水機関・世界水の日こども議会	世界水の日啓発事業	861人
4	大阪川の日写真コンクール表彰式	大阪府都市整備部河川室	河川愛護月間の啓発事業	-
5	平成OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	-

※大阪川の日写真コンクール表彰式、平成OSAKA天の川伝説は台風の影響により中止

■2019年度

番号	事業名称	主催	内容	利用者数
1	ココフェス～ココナッツで世界を変える大作戦～	(株)ココウェル	水辺を活用した賑わい事業	2,069人
2	青空シェフごはん トランチ	(株)Mellow	水辺を活用した恒常的な賑わい事業	412人
3	北大江たそがれコンサート	北大江たそがれコンサート事務局	水辺を活用した賑わい事業	約200人
4	全日本ハイドロフライト選手権	全日本ハイドロフライト選手権 実行委員会	水辺を活用した賑わい事業	約300人
5	ラグビーワールドカップバルーン展示	ラグビーワールドカップ2019 大阪・花園開催推進委員会	大阪の魅力発信事業	-
6	APPワールドツアー大阪大会 SUPオープン	ウォーターマンリーグ(株)	水辺を活用した賑わい事業	約200人
7	水辺のサンセットモヒート@GANGI	水都大阪コンソーシアム	雁木を活用した賑わい事業	約500人
8	水辺の朝ごはん	水都大阪コンソーシアム	水辺を活用した賑わい事業	約100人
9	八軒家今昔物語	水都大阪コンソーシアム	八軒家浜の歴史の情報発信と賑わい創出事業	約1,000人
10	大阪川の日写真コンクール表彰式	大阪府都市整備部河川室	河川愛護月間の啓発事業	約50人
11	令和OSAKA天の川伝説	平成OSAKA天の川伝説実行委員会	水都大阪の魅力発信事業	約60,000人
12	絵手紙展	絵画教室	八軒家浜周辺でスケッチをする絵画教室の作品発表展	2,691人

※ラグビーワールドカップバルーン展示は水上での24時間屋外展示のため、計測不可

「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業

4期目（2020年度）以降に向けて

にぎわいXingの構成各社が、それぞれできることを積み重ね、過去9年間運営してきました。その結果、開業当初より目指していた365日稼働を実現し、年間約20万人（2018年度）が訪れる場所へと進化させることができました。

4期目は、「川の駅はちけんや」だけに留まることなく、その魅力を広く伝え、他エリアと協働した水都大阪の賑わい創出に取り組みます。

■4期目の事業コンセプト■

公共空間の活用による更なる価値の顕在化。

そして近隣地域・団体との連携を強化し、大阪観光の魅力の一つである「水都大阪」を体現する場へと進化。

■主な施策概要

■水陸交流観光拠点の創出

●365日稼働コンテンツの充実

⇒「川の駅はちけんや」の更なる活用による価値の顕在化。事業基盤をより強固にし事業を安定化

●天満橋から八軒家への導線形成及び案内機能の強化

⇒ハード面とソフト面による天満橋駅からの導線強化と船着場のターミナル化

●水陸交流観光拠点化のためのエリアマネジメント推進

⇒周辺企業、施設との連携を強化し、天満橋エリア一体での観光地運営への基盤づくり

●水上ネットワークの繋がりを活用した広域連携による水辺の情報発信を強化

⇒大阪・関西万博の開催に向けて、川でつながる各地域との、舟運を使ったヒト・モノ・コトの連携を強化

■防災や安全の強化

●災害時のマニュアル更新と防災訓練の実施

⇒「川の駅はちけんや」の災害時マニュアルを更新し、各テナント従業員にまで周知・徹底。水辺の防災訓練を開催。

持続的な活動によって生まれる、「水辺の賑わい提案」の好循環をさらに加速させていきます。

●365日稼働コンテンツの充実

⇒ 過去9年間取り組んできた、**365日稼働を継続**しながら、情報発信事業の強化、雁木の高度利用、水辺アクティビティ・集客交流の拡充を実施。

「川の駅はちけんや」の更なる活用に取り組むことで、**公共空間の価値を顕在化**させます。また、**事業基盤をより強固にし、安定した事業運営**を行います。

(1) 情報発信事業の強化：担当/大阪水上安全協会・大阪水上バス

- ・展示、セミナーの誘致活動

大阪水上安全協会や大阪水上バスに集まる情報を活用し、展示やセミナー等の誘致を積極的に行います。

特に、大阪・関西万博に関する案件においては、水都大阪の拠点である「八軒家浜」の役割を発揮していきます。

(2) 雁木の高度利用：担当/日本シティサップ協会

- ・水の回廊ツアーの365日稼働

2020年春に尻無川に新拠点をオープン予定。これまで不定期で開催してきた、水の回廊ツアーを八軒家浜・尻無川の2拠点を軸に、365日稼働します。

- ・ドローン事業

SUPを使ったドローン飛行のサポート事業を新たに展開。また舟運と絡めた災害時のドローン活用も見据えた事業展開を行います。

(3) 水辺アクティビティの拡充：担当/全日本ノルディック・ウォーク連盟

- ・「健康×観光」事業の推進

“大阪観光をしながら、健康になる”をテーマに、街歩きマップの作成、レンタルポールステーションの開拓による、水辺ウォーキングの機会創出を行います。

- ・他府県からの誘致

全国に広がる連盟のネットワークを活かし、大阪の魅力を発信。他府県からウォーカーを呼べる仕組みを構築します。

(4) 集客交流の拡充：担当/RETOWN・大起水産

- ・フードダイバーシティ対応

今後ますます増える外国人旅行者の受け入れを行うべく、ハラールやヴィーガン、ベジタリアンに対応したメニューを開発・提供。

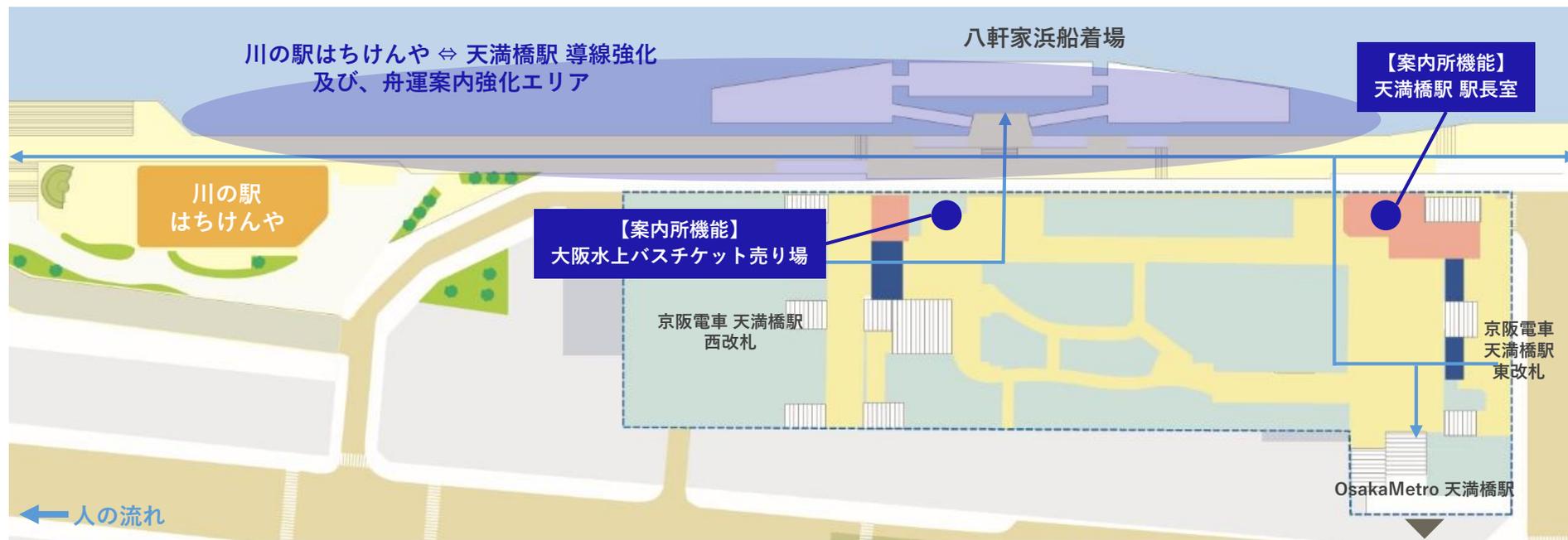
日本の食材、食文化の発信を行います。

- ・月1マルシェの開催

生産者（農家）とお客様をつなぐマルシェを月1ペースで開催。八軒家浜の固定客獲得を目指します。

●天満橋から八軒家への導線形成及び案内機能の強化

⇒「川の駅はちけんや」の弱点である低水敷の導線の弱さを克服すべく、**ハード面（看板設置）**と**ソフト面（人による案内）**を強化していきます。
また、**船着場周辺の案内を充実**させ、**舟運ターミナル機能を進化**させていきます。



(1) ハード面での案内強化

既存看板の修復、新設看板の設置、舟運案内看板の設置に向けて、大阪府、大阪市、水都大阪コンソーシアムと協議を進めていきます。

(2) ソフト面での案内強化

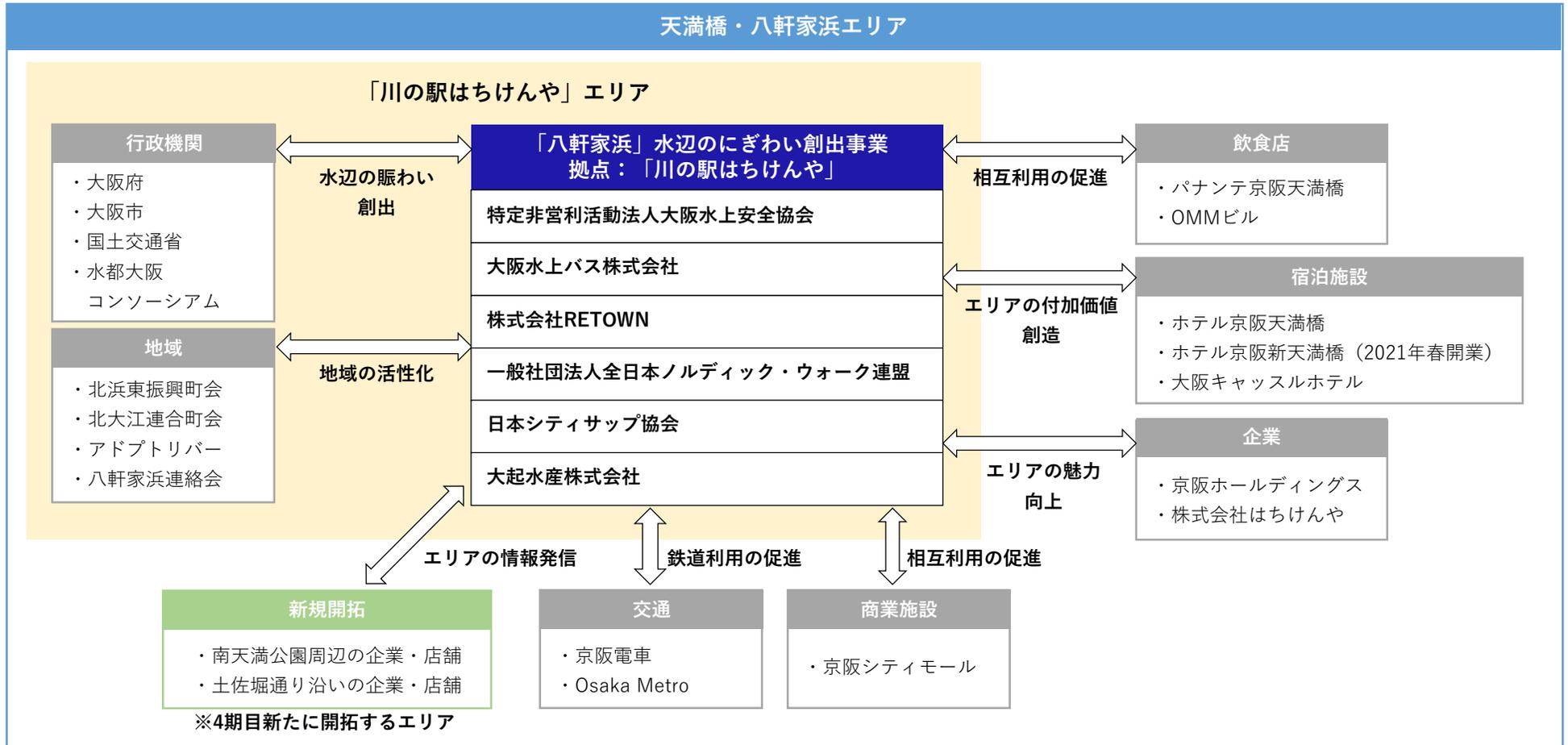
京阪電車、大阪水上バスとの連携を深め各案内所での、情報発信を強化していきます。

●水陸交流観光拠点化のためのエリアマネジメント推進

⇒八軒家浜周辺には、観光拠点に必要な要素（歴史、景観、魅力あるコンテンツ、交通手段、飲食・宿泊施設等）が揃っています。

それらの要素を集約し、**天満橋・八軒家浜エリア一体となって水陸交流観光拠点へと進化させる、観光地運営への基盤づくりを行います。**

「八軒家浜」水辺のにぎわい創出事業が、水陸交流観光拠点化への舵取り役を担い、天満橋・八軒家浜エリアから”水都大阪観光”を発信していきます。



●水上ネットワークの繋がりを活用した広域連携による水辺の情報発信を強化

⇒大阪・関西万博の開催に向けて、**大阪水上安全協会や大阪シティクルーズ推進協議会**（事務局：大阪水上バス/観光船事業者11社で構成）等の**水上ネットワークを活かし**、東西軸ルート（大阪城～大阪港）や淀川、水の回廊ルート等、川でつながる各地域との**舟運を使った、ヒト・モノ・コトの連携**を強化します。そして、水都大阪の活性化に寄与していきます。



●災害時のマニュアル更新と防災訓練の実施

⇒「川の駅はちけんや」全体の災害時マニュアル更新を、(株)はちけんやと共同実施。各テナント従業員にまで浸透するよう周知・徹底に努めます。
また、災害時の水辺の防災訓練として、船やSUP、ドローンを使った人・物資の輸送訓練を開催します。

(1) 情報収集方法の周知

- ・各種防災メールやアプリの登録促進
- ・河川水位が確認できるWEBサイトの共有

(2) 防災情報伝達手段の確立と基準の設定

- ・緊急連絡網を常に最新版に保つ（現在も実施済）
- ・危険と判断される基準の設定（現在は各社で設定）

(3) 防災備品の準備

- ・防災備品を確保、保管

(4) 防災訓練の実施

- ・火災、地震、津波、台風等の様々な場合を想定した「川の駅はちけんや」の防災訓練を実施。特に常駐する各テナント従業員への積極的な参加を促し、来館者（お客様）の避難誘導訓練も含めて実施する。

(5) マニュアルの更新

- ・防災に関する最新情報を入手し、防災訓練により改善点の把握をし、マニュアルへ反映。常に最新の状態に保つ。

(6) 八軒家浜船着場を活用した、水辺の防災訓練の実施

- ・船による人の輸送や、ドローンによる物資の運搬、水上火災や河川の人命救助など、各機関と連携した水辺ならではの訓練を実施。
⇒中之島界隈の各エリアとの連携した訓練の実施に向けても協議を進めていく。

単位：人

	2011年度 ※1	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 ※2
GREEN CAFE	3,815	38,015	32,430	25,649	36,676	35,065	29,842	20,198	20,707
天下の台所 八軒家浜市	18,339	18,393	19,880	21,640	22,500	19,669	20,643	17,846	4,446 ※3
ウォーキング ステーション	10,999	6,475	4,129	2,655	3,218	2,670	2,674	2,471	1,904
展示室	63,574	106,890	132,906	165,412	140,131	146,748	151,064	141,149	89,096
水上さんば	-	-	1,585	1,849	1,843	1,356	2,144	2,189	1,886
リバーサイドヨガ	-	-	-	-	269	584	359	389	356
(主催事業) 催事イベント※4	-	-	-	122,695	161,063	26,657	65,378	7,318	41,087
(主催事業) 合計	96,727	169,773	190,930	339,900	365,700	232,749	272,104	191,560	159,482
(提案事業) 催事イベント※5	-	-	-	67,053	52,030	72,490	72,488	2,987※6	67,522
総合計 (八軒家浜全体)	96,727	169,773	190,930	406,953	417,730	305,239	344,592	194,547	227,004

※1 2011年度は7月～3月まで

※2 2019年度は4月～12月まで

※3 2019年度の八軒家浜市は4月～7月まで

※4 (主催事業) 催事イベント：はちけんやお花見フェスタ、天神祭船渡御観覧事業など期間限定イベントの利用者数をカウント

※5 (提案事業) 催事イベント：P5に示す事業の利用者数をカウント

※6 2018年度の平成OSAKA天の川伝説は雨天の為中止



大阪川の日写真
コンクール表彰式



水上安全講習会



フォークダンス教室



ココフェス



天下の台所 八軒家浜市



カフェ営業時



全国水都フォーラム
@大阪



水中写真展



パネル展



雨と生きもの展



魚道展



絵手紙展



SUP



SUP



リバーサイドヨガ



ノルディック・
ウォーク



ノルディック・
ウォークフェスタ



ナイトクルーズ



天神祭船渡御
観覧事業



OSAKA天の川伝説



はちけんや体操



低水敷マーケット



はちけんや
お花見フェスタ



トランチ